

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号

55

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 														
2 評価する領域・分野	◇教務														
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校経営・教育方針について、大多数の保護者から賛同を得られている。 ○ ホームページ等の情報発信は、生徒・保護者から好評だが「わからない」が20%あり、ネット環境の差が関係していると思われる。 ○ 学習指導に関して7割近くの生徒が指導方法を評価している。 														
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的・基本的な内容を確実に身につけるため、1時間1時間の授業を重視した授業展開を行う。 ・ 生徒の興味・関心を喚起し、アクティブラーニングを取り入れるなど、主体的な学習態度の育成を図る。 ・ コミュニケーション能力の向上を重視した授業を展開し、自己表現能力の向上を図る。 														
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・ 教務部・学年会・工業科・普通科の連携														
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標														
<ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎計算力向上のため、マナトレを実施。 (2) 数学、理科・英語・体育で分割授業を実施し、きめ細かな指導。 (3) 実習における体験的な活動と、レポート指導におけるコミュニケーション能力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 数学及び工業科目における計算能力の向上。 (2) 生徒・保護者アンケートによる評価及び生徒による授業評価。 (3) 課題研究等によるプレゼンテーション能力による評価。 														
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学科を主体にマナトレを実施。 ・ 数学、理科・英語・体育で分割授業の実施。 ・ 課題研究における主体的な活動と発表会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力が向上したか。 ・ 分割授業の効果はあったか。 ・ 主体的に活動し発表できたか。 	<table border="0"> <tr> <td>A</td> <td>Ⓐ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>Ⓐ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>Ⓐ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>		A	Ⓐ	C	D	A	Ⓐ	C	D	A	Ⓐ	C	D
A	Ⓐ	C	D												
A	Ⓐ	C	D												
A	Ⓐ	C	D												
11 成果・課題	○生徒は、授業や部活動を通して、社会人として必要な力を身に付けている。		総合評価 A Ⓐ C D												
12 来年度に向けての改善方策案															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 欠点保有者の早期解消指導。 															

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月1日

【意見・要望・評価等】

- ・ 授業以外の学習機会が少なくなっているのは残念である。今後は、学習活動以外の行事を増やしてほしい。
- ・ 生徒アンケートと保護者アンケートの結果に同じ傾向が見られることは、細かな部分まで情報提供と収集が行われている結果の現れである。また、コロナウイルス感染症対策を素早く的確に実施されている様子もよくうかがえる。
- ・ コロナに振り回された1年でした。様々な行事が中止になることはもちろん、開催にあたっても多く制限があり例年通りの活動が出来なかったと思います。しかしながら、今後もコロナは続くとの想定のもと、それらに対応した活動への切り替え、生徒には有意義な高校生活を送って頂きたい。

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号	55
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	・明瞭で健康な心身を育成する。 ・自主創造性の伸長を図る。 ・誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・自然を愛する豊かな心を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇生徒指導部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○マナー、モラル指導への評価が高い。 ○高校らしい頭髪服装指導への評価が高い。 ▲いじめの対応について理解は向上しているが、「分からない」がまだまだ多い。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	・人権感覚を高め、いじめのない学校の実現に努める。 ・気持ちの良い挨拶ができ、地域社会に貢献できる生徒を育成する。 ・学習と学校行事、部活動を通して自己有用感を育成する。 ・情報モラル教育のさらなる充実を目指す。 ・個に応じた指導の充実を図る。 ・職員間の情報共有と職員間の連携強化を図る。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	生活指導、安全指導、教育相談、生徒会、部活動、いじめ防止等対策委員会、特別支援教育委員会、学年会、HR担任、各科との連携	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 人権教育 (いじめアンケート実施を含む) (2) 登校指導 (挨拶・交通安全指導を含む) (3) 身だしなみ指導 (4) 教育相談週間を含む相談活動 (5) 情報モラル教育	(1) いじめアンケート結果分析、人権LHR等感想 (2) 自らすすんで挨拶ができたか。 交通マナーが守れているか。 (3) 自主的に身だしなみを整えたか。 (4) 面談で得た情報の共有ができたか。 (5) 情報モラル講話の実施、スマホマナー指導	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・いじめアンケートの実施と活用 ・あいさつ運動(校門指導) ・身だしなみ指導	① 生徒が安全・安心して充実した学校生活を送ることができているか。 ② 全校生徒が主体的にあいさつできているか。 ③ 高校生としてのふさわしい服装か。	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○特別指導が1件であった。 ○挨拶は多くの生徒ができている。一部の生徒は向上の余地がある。 ▲いじめの未然防止に努めたが、今年度は認知件数が4件あった。 ▲自転車の自損事故が5件であった。ここ数年で最も多かった。 ▲1年生は、まだまだ情報モラルが浸透していない。 ▲遅刻数がここ数年で最も多かった。	
12 来年度に向けての改善方策案 ・学校再開が6月からとなり、問題がこれから起きる可能性がある。いじめや情報モラル等より一層の啓発が必要である。 ・自転車事故の中には、少し間違えば命にかかわる事故もあった。自転車の交通安全についても、より一層の啓発が必要である。		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月1日

【意見・要望・評価等】 ・毎月のアンケートで些細なことから対応している。コロナの影響はこれからもあるはずだが、手厚い支援が施されていることが伝わる。 ・生徒指導面において早期発見、早期対応と校内における校内の情報共有の状況がうかがえる。大きな問題になる前に対応されている。不登校対応はとても難しいと思う。

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号

55

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・明朗で健康な心身を育成する。 ・自主創造性の伸長を図る。 ・誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・自然を愛する豊かな心を育てる。 		
2 評価する領域・分野	◇進路指導部		
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○進路情報についての提示および具体的な進路指導について高評価で、学年進行と共に意識が高まっていると思われる。 ▲「分からない」との回答も2割ほどあるが、昨年度より減少した。		
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。 (1) 地元企業への求人活動 (2) 基礎学力の充実と個に応じたきめ細かな進学補習 (3) 保護者を連携した活動と情報提供 (4) 面接指導の充実 (5) 進路ガイダンスの効果的な活用 		
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学科・学年団との連携		
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 生徒の発達段階に応じたキャリア教育の推進。 (2) 体験的学習、外部の教育力の活用。 (3) 家庭や地域社会との連携。	・生徒・保護者の満足度		
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・各種ガイダンスの実施 ・保護者や企業に向けた情報発信 ・行政機関との連携 	・進路実現者数	A (B) C D	
11 成果・課題	○コロナ禍の影響で、3年生は先輩と語る会や企業見学会、2年生はインターンシップや合同企業説明会が中止になり、年度当初に計画したキャリア教育を実施できなかった。 ○ネットを利用した進路希望調査や進路情報発信など、新しい試みを実施できた。 ○校内でのガイダンスや面接指導などを充実させた。また、新しく1年生で、職業についてのキャリアガイダンスを導入した。 ○地元で永住する若者を増やすため、行政との共通理解を深め、具体的行動の目途を立てることができた。 ▲就職において不合格者が数名出てしまったが、昨年に比較し減少した。		総合評価 A (B) C D
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業就職や定住者の増加を図るため、行政とのタイアップを継続する。 ・学校から地元企業に向けて、情報を発信していく。 ・就職試験に向けての対策を検討する。 		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月1日

【意見・要望・評価等】

- ・新聞やテレビでコロナの影響による就職内定取り消し等のニュースを見聞きする度に本校生徒の就職試験が無事終わり、社会に出られてよかったと感じる。生徒がコロナ禍においても、しっかりと学び、活動しているのがよくわかった。
- ・地域産業を支える工業高校として、素晴らしい求人状況である。今後も、地域産業を発展させる人材を育成してほしい。
- ・授業以外の学習の機会の確保のために、企業によるWebでの出張授業はどうか。「社会人と学生の違い」「社会人基礎力とは」「企業が求める人材とは」「PDCAについて」「グループディスカッションによる仕事の練習」が出来ると思われる。このように企業から提供できる学びもあるので相談してほしい。

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川高等学校 学校番号 55

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 明朗で健康な心身を育成する。 (2) 自主創造性の伸長を図る。 (3) 誠実で勤労を愛する態度を養う。 (4) 自然を愛する豊かな心を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇保健環境	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	▲検診結果による要受信者の受診完了報告が100%に至らない。 ・非常時変災における、生徒・保護者の連絡方法の確立。 ▲変災による理解度・行動パターンの意識が低い。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇保健…自己管理ができ健康の保持・増進に取り組む生徒の育成 防災…自分の命を守る意識と行動を高める。 美化…安全で校内美化に努め、学習環境の高揚を目指す。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	職員…学校保健委員会・安全衛生委員会・防災対策委員会 生徒…保健委員会・環境防災委員会	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 健康診断の事後指導 (2) 日常点検におけるチェック表の実施 (3) 命を守る訓練の充実 (4) 委員会活動の充実と美化活動の活発化 (5) 安全点検の重視	(1) 検診後の受診状況の結果 (2) 外部講師による指導・評価 (3) 委員会活動による結果・実績 (4) 学校保健委員会・衛生委員会での評価・助言	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
・各健康診断の実施と事後指導の推進 ・保健委員による日常点検と職員による指導 ・命を守る訓練での意識調査 ・毎日の清掃と定期的な大掃除の実施 ・職員による安全点検の実施	①健康診断事後報告 ②委員会の活動報告 ③講師の評価 ④学校評価アンケート	A (B) C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題 【保健衛生】 ○コロナ感染症の影響で検診が夏休み後に集中した。取りやめの検査もあり事後指導については指導仕切れない点もあったが、精一杯努力した。 ▲例年の1年間ではなかったため、例年と比較することはできないが、体調不良者が多く感じられた。分析しながら健康への呼びかけをしていきたい。 【防災】 ○今年計画してあった防災訓練はすべて紙面上のものになり、避難経路については1年生のみクラス別に実施した。 ▲命を守る訓練の内容について見直し、より良く実践できるよう取り組む。 【環境美化】 ○各環境検査は予定通り実施できた。改善できるところは実施できた。 ▲すべての基準どうりとはなかなかいかない。人的にできることは努力し、修理・修繕が必要なところは依頼した。	総合評価 A (B) C D	
12 来年度に向けての改善方策案 ・感染症（コロナ感染症）については継続課題となる。一層感染症に対する予防・予防知識を強化して行きたい。 ・非常時変災でのいろんな状況に対しての危機意識が求められるようになり、それらの対応について対策を考える。		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月1日

【意見・要望・評価等】 ・コロナ感染対策を取りながら、生徒の精一杯の取り組みの様子うかがえる。
--

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校 学校番号 55

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 明朗で健康な心身を育成する。 (2) 自主創造性の伸長を図る。 (3) 誠実で勤労を愛する態度を養う。 (4) 自然を愛する豊かな心を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇渉外部	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会などの出席率は高く、役員が協力的である。 ・今年度より育友会としてスタートする。 ・新型コロナウイルス感染予防対策のため、育友会、同窓会などの行事の検討 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇新型コロナウイルス感染予防対策のため育友会行事、同窓会行事などの検討をする。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・各分掌および育友会役員、同窓会役員との協力	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 育友会、同窓会役員の意見を大切にする。 (2) 他校の情報を収集する。	(1) 新型コロナウイルス感染予防対策の為、各行事の開催方法または中止が妥当であったか？	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・役員会、育友会総会、育友会企業見学会(中止) ・体育祭駐車場整理(中止)、公開実習見学会(中止) ・地区高P連協議会(中止)、育友会バザー(中止)、通信の発行の実施 ・同窓会総会(中止)、諸親睦会(中止)、役員会 	①諸事業の開催方法 ②会員からのご意見	A <input checked="" type="radio"/> B C D A <input checked="" type="radio"/> B C D
11 成果・課題	総合評価 A <input checked="" type="radio"/> B C D	
12 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度育友会としてスタートしたが、諸行事を行っていないので、円滑に行えるようにすることと、新型コロナウイルスの終息に至っていない場合の実施方法を検討する。 	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和3年2月1日

【意見・要望・評価等】 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を十分に行いながら、高校でしかできない貴重な体験を少しでもさせてほしい。 ・高校生の3年間は今しかないのに、試合が無かったり、練習会場も使えなかったりと悔しい思いを生徒はたくさん経験したと思う。通常のありがたさを分かった年であったと思う。 ・コロナの影響により、様々な行事やイベントが中止になったが、部活動等を頑張っている様子がわかった。 ・今年度は、コロナの影響で中止となった活動や縮小した活動などが多いと思う。生徒はとても残念がっていると思うが、出来ることを力いっぱい頑張ってもらいたい。
--

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号	55
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 			
2 評価する領域・分野	◇図書			
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○生徒の希望や実態に応じた図書を購入することができた。 ▲生徒の読書量を増やす取り組みが不十分であった。			
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい職業人に求められる知識、技術、想像力を涵養するために、生徒の図書館の利用、読書量を増やす。 ・ 読書案内や図書館だよりなどを通じて、進んで読書する生徒作りを目指す。 			
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書選定委員会 ・ 図書委員会 			
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員、図書委員などの推薦図書の紹介 ・ 図書館だよりの発行 ・ 図書館オリエンテーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館利用者数を増やすことができたか。 ・ 年間貸し出し冊数は増えたか。 ・ 図書館だよりや推薦図書案内を発行できたか。 			
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員、図書委員などの推薦図書の紹介 ・ 図書館だより、新着図書案内の発行 ・ 図書館オリエンテーション（1年生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館利用者数 ・ 年間貸し出し冊数 ・ 図書館だよりの発行 	A (B) C D A B (C) D A (B) C D		
11 成果・課題	○図書館だより、新刊図書案内を年間通じて発行することができた。 ○職員・図書委員の推薦図書は昨年度から冊子ではなく、図書館だよりを利用している。昨年度までは「夏休みの推薦図書」だったが、今年度は「秋の読書週間」の時期を中心に紹介したため、余裕をもって取り組むことができた。 ○職員の推薦図書の依頼、回収は図書委員が責任を持って行うことができた。 ○芸術鑑賞は今年度の実施は見送られたが、来年度以降の計画をたてることができた。 ○校誌は昨年度からの変更により、時間的に余裕をもって取り組むことができた。 ▲休校期間が長かったことなどにより、本の貸し出し冊数が少なかった。 ▲4月の1年生のオリエンテーションが実施できなかったことで、1年生の来館や貸し出しが少なかった。 ▲貸し出し冊数では昨年度までと同様、コミックの割合が大きかった。文学作品や工業科などの研究・調査のための本の貸し出しを増やしたい。 ▲貸し出し冊数の多い生徒が一部に限られており、多くの生徒が本に親しむような取り組みが課題である。		総合評価 A (B) C D	
12 来年度に向けての改善方策案				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館へ来館する生徒が限られているので、多くの生徒が来館し、本に親しむ取り組みを考え、実施する。 ・ 職員の読書量を増やし、職員が読書の意義や楽しさを生徒に伝えられるような方策を考える。 				

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校 学校番号 55

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 	
2 評価する領域・分野	◇工業	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できる先生が多い。 ・ インターンシップは、職場を知る良い機会である。 ・ 3年生で学習する課題研究は自分にとって有意義である。 ・ 本校の施設・設備は、学習環境の面で満足できない。 	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇産業界・地域社会との連携した取組の推進 ◇基礎学力向上を目指した指導方法及び評価の研究と実践	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・学校活性化委員会 ・地域連携委員会 ・課題研究委員会 ・学習委員会 ・資格検定委員会 ・広報委員会	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 本校主催の工作教室や、外部団体と連携したイベントや行事への積極的な参加 (2) マナトレの効果的利用による基礎学力の向上と学習習慣の定着 (3) 資格・検定の調査、研究、統計と受験指導	(1) イベントや外部団体との連携状況 (2) 基礎学力の向上と定着 (3) 資格・検定の取得状況	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ テクノボランティアを継続的に実施する。 ・ 中津川市と連携した工作教室を実施する。 ・ 地元中学校での出前授業を実施する。 ・ 各学科の課題研究発表会を実施する。 ・ 朝学習を活用した基礎力向上を実施する ・ 学科に対応した資格・検定に対する受験指導を行う。 	① イベントや工作教室への参加数およびアンケート等による満足度評価 ② コンテスト等への参加数と結果 ③ マナトレ・小テスト等の結果 ④ 取得した資格・検定の難易度と取得数	A (B) C D A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	総合評価 A (B) C D	
12 来年度に向けての改善方策案 ・ 地域産業の担い手育成総合戦略事業の研究指定校として、テクノボランティアや工作教室など地域と連携した事業は継続・拡充していきたい。実習室等のICT化や防災・安全対策についてもすすめていきたい。		

II 学校関係者評価

実施年月日：令和2年2月1日

【意見・要望・評価等】 ・ 坂本こども園のウサギ小屋を作っていただき感謝している。コロナ禍ではあるが、本校との保育実習を何からの工夫をして行いたい。園児・保護者とも、今年は実施できず残念がっていた。 ・ 幼稚園のウサギ小屋の製作や、高齢者宅の障子の張替えなどの地域ボランティアは、とても良い活動である。今後も継続して取り組んでほしい。 ・ 地域に根ざした教育活動を大切にしていることが、生徒のやる気や意欲を引き出している。坂本まちづくり協議会（教育文化部会）では、駅南地区の有効活用や坂本小中学校を中心としたアクセス図を考えている。本校生徒の発想も必要なので、参画を検討してはどうか。
--

令和2年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号	55
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 			
2 評価する領域・分野	◇第1学年			
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<p>○授業、部活動や学校行事などすべての教育活動の中で、基礎学力、専門知識、モラル・マナーなどを身につけている。</p> <p>▲授業で学習内容の理解が困難な生徒もおり、個に応じた指導を求めている。</p>			
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な学習習慣、生活習慣の定着 ・ 望ましい人間関係の形成 			
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学級担任を中心とした複数人での指導 ・ 学年会と工業各科、生徒指導部（特に教育相談）、進路指導部などとの連携 			
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標			
(1) 規律ある学校生活の確立。 (2) 基礎学力の定着と主体的な学習態度の確立を目指す授業。 (3) 学校行事や部活動による協調性や自主性の確立。	<p>(1) 学校生活に適応し、規律ある生活習慣を身につけたか。</p> <p>(2) 基礎学力、専門的知識が身についたか。</p> <p>(3) 自主的に学校行事や部活動に参加し、仲間を尊重する態度や思いやりの気持ちを身につけたか。</p>			
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価		
<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーリング、挨拶指導などの実施 ・ マナトレや検定補習等の実施 ・ 遠足、社会見学の実施 ・ 体育祭、文化祭への取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力の定着 ・ 学校生活への適応 ・ 問題行動や不登校への対応 	<p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p> <p>A (B) C D</p>		
11 成果・課題	<p>○空調機器の適切な使用により、夏期でも授業に集中できていた。</p> <p>○ICTの活用により、授業時間の少ない中、一定の学習効果が得られた。</p> <p>○高校生としてふさわしいモラル、マナー、服装を身につけることができた。</p> <p>○新型コロナ禍により学校行事が中止されたが、LHRを活用しクラスづくりに活かすことができた。</p> <p>○学校行事がなかったため、例年のような人間関係のトラブルの発生は少なかった。</p> <p>▲学習意欲欠如や学校不適応と思われる入学生が複数みられ、長期欠席となった。学科等のさらなる支援が必要である。</p> <p>▲学校行事の中止や部活動の縮小などにより、本来、経験し身につけるべき人間関係形成や達成感などを得ることができなかったことは残念であり、今後の影響が心配である。</p>		<p style="text-align: center;">総 合 評 価</p> <p style="text-align: center;">A (B) C D</p>	
12 来年度に向けての改善方策案				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路意識を高めるとともに、進路目標達成のために、言語能力を高める授業を工夫し、朝読書などの手段を検討する。 ・ コロナ禍における諸活動の縮小による多様な経験の不足を考慮した対応が、今後必要となる。 				

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号	55
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 	
2 評価する領域・分野	◇第2学年	
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○学校行事や進路指導を通じて、職業人となる教育が充実しており、豊かな人間を育成しようとする校風が感じられる。 ▲学校生活や将来の目標を明確にする。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中核学年として主体的な判断と行動ができ、自立するための基礎的な学力や資質を身に着けさせる。 	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年学年会 ・ 工業各科、生徒指導部、進路指導部、教育相談との連携。 	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 基礎学力の定着と主体的な学習態度の育成 (2) 就業体験や先輩と語る会などによる望ましい職業観、勤労観の育成 (3) 自他の生命尊重、思いやりの気持ちの育成 (4) 学校行事や部活動を通じてお互いの協調性信頼性の高揚	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力、主体的な学習態度が身に付いたか。 ・ 働くことの意義について考えることができたか。 ・ 自他の生命の大切さについて考えることができたか。 ・ 仲間を尊重し、協力することができたか。 	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人懇談、保護者懇談、各種検査の実施 ・ 進路説明会などの実施 ・ 部活動への積極的な取り組み ・ 生活アンケートや人権LHRへの取り組み ・ 朝読書や一般常識テストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎学力の定着 ・ 勤労観の育成 ・ 協調性の伸長 	A (B) C D A (B) C D A (B) C D
11 成果・課題	○休校期間などで登校できない日数が多かったが、ほとんどの生徒が規律ある生活態度を維持し、順調に通常授業を再開できた。 ○オンライン授業など未経験の授業形態にもしっかり取り組むことができた。 ○体育祭、仰星祭、修学旅行など学校行事の中止、延期が相次いだ。意欲を失うことなく授業を受けることができた。 ○学年行事(校外研修)では、班別行動を計画的に行うことができた。 ○週2回の朝読書を行い、黙々と本に向かう姿勢が見られた。 ▲一般常識テストを12月から開始したが、もっと早めに取り組むとよかった。 ▲進路関係の行事もほとんど中止になったため、自分の進路を具体的に考える機会が少なかった。 ▲体育祭や仰星祭の中止は、来年度のリーダーになる学年にとっては、不安が残った。	
12 来年度に向けての改善方策案		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路実現と将来のため、目的を明確にした主体的な学習を意識させ、基礎学力の向上に努める。 ・ 学校行事などで、最高学年として良きリーダーシップを発揮できるよう、適切な補助、アドバイスをする。 ・ 多様な目的意識を持つ生徒に応じたきめ細かい指導を行う。 		
		総合評価 A (B) C D

令和元年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立中津川工業高等学校

学校番号	55
------	----

I 自己評価

1 学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明朗で健康な心身を育成する。 ・ 自主創造性の伸長を図る。 ・ 誠実で勤労を愛する態度を養う。 ・ 自然を愛する豊かな心を育てる。 														
2 評価する領域・分野	◇第3学年														
3 現状、生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	○社会規範やマナーを身につけ、高校生としてふさわしい頭髪・服装を意識し、礼儀正しく、挨拶ができる。 ▲ボランティア活動や学校行事に積極的に取り組む。														
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア教育を充実させ、自己実現に向けて自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育てる。 ・ 行事への取り組みを通して、最上級生としての責任感や自立心を伸張する。 														
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年学年会 ・ 各学科、進路指導部、生徒指導部との連携 														
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標														
(1) 進路講話、企業見学、先輩と語る会 (2) 一般常識などの基礎学力の定着、面接指導 (3) 個人懇談、保護者懇談、各種検査の実施 (4) 部活動、学校行事への積極的な取り組み (5) 各種検査結果の活用（職業適性・クレペリン等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路意識を高め、自己の在り方、生き方を考えることができたか。 ・ 社会人としての基礎学力やマナーが身についたか。 ・ 部活動や体育祭・仰星祭においてリーダーシップが発揮できたか。 														
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価													
<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種進路支援テストの実施 ・ 面接講習会 ・ 三者懇談会、家庭との連携 	① 進路意識の向上と進路決定 ② 基礎学力と社会人マナーの定着 ③ 責任感と自立心の伸張	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>Ⓐ</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>Ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>Ⓐ</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>		Ⓐ	B	C	D	A	Ⓑ	C	D	Ⓐ	B	C	D
Ⓐ	B	C	D												
A	Ⓑ	C	D												
Ⓐ	B	C	D												
11 成果・課題	○自己の適性や興味、将来設計を明確にし、それぞれの希望にそった進路決定を、ほとんどの生徒がすることができた。 ○進路実現に向けて、資格の取得や学力向上に向け主体的に取り組んだ。 ○コロナ禍という特殊な環境の中で、自己の健康を顧みて、各自が感染防止策に努め、全員が罹患することなく生活することができた。 ▲面接で自分の意志を上手く伝えることができず不合格となる生徒が若干出た。 ▲専門学校を含めた進学者で不合格となる者が少なからずいた。自己の能力・適性を踏まえた学校選択が求められる。 ▲各種公務員試験において、合格率が低かった。公務員志望が増加する社会情勢を踏まえ、面接・実技・筆記の各試験に対するより一層の準備が必要である。 ▲進路の決定に際し、保護者の考えに左右されることもあるが、自己の適性を踏まえ、将来の在り方をよく考え、進路を決定するよう指導する必要がある。		総合評価 A Ⓑ C D												
12 来年度に向けての改善方策案															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の適性を知り将来の在り方を考えるなかで、企業情報の研究など自主的に取り組ませることが必要である。生涯を通じての学習の必要性を考えさせるため、資格や検定などの取り組みをさらに進めたい。 															